

生徒が主体的に「読む」授業 －文章構成図の作成を通して－

- 1 科目名 現代文B
- 2 単元名 評論Ⅱ
- 3 教材名 西谷修「問われる『身体』の生命」
- 4 単元の内容

単元の目標
と評価規準
・評価方法

①単元の目標

- ア 脳死について関心を持ち、筆者の主張に対する自分の考えを持とうとする。
(関心・意欲・態度)
- イ 段落構成や論理展開をおさえながら、筆者の主張を読み取ることができる。
(読む能力)
- ウ 本文中の抽象語彙や語句の意味を理解することができる。
(知識・理解)

②単元の目標設定の理由

- ・私はこれまで現代文の授業で、形式段落ごとに本文の解説をしながら黒板に要点をまとめ、生徒はそれを書き写していくという授業を展開してきた。しかし、段落ごとに表現の説明や語彙の確認などをしていくことで、逆に文章全体として一番大きな柱となる主張が読み取れていないという状態を作ってしまった。生徒が単元の終了後に「結局は何が言いたかった文章なのかわからない」と質問してきた際に、文章の骨組みを意識した読み方が必要だと痛感させられた。何より、生徒が説明を聞き、ノートをとることで「分かった気」になり「読めた気」になっていることが問題だと感じた。そこで、授業者の解説は必要最小限にとどめ、中心となる話題、筆者の主張（文章の「骨」と言えるもの）などを「生徒が自分で読み取る」ということを目標とした。
- 「問われる『身体』の生命」は「脳死」という難しいテーマを扱いながら、現代における身体の捉え方について考えさせる文章となっており、生徒にとっては関心を持って読める文章である。また、短いながらも論理構成がきっちりと備わっており、筆者の論の展開がつかみやすい文章といえる。これらのことから、本単元での目標を上記のように設定した。

③中心となる学習活動

- ・ワークシートに各段落の構成図を作成し、要旨をまとめていく。逆接表現や言い換えを表す言葉、まとめの言葉などに注意しながら「具体－抽象」「主張－根拠」の関係を意識して読んでいくことで、各段落の要旨をつかんでいく。その後、ペアやグループになりまとめたものを見せ合ったり話し合ったりすることで、段落の「骨」が読みとれているかを確認する。
- ・ワークシートには各段落の内容把握に有効であると思われる設問があげられている。生徒の理解の助けとなる問とし、解答を考えることを通して精読していく。
- ・毎時間、終了の際に自己評価を行い、学びを振り返る。生徒自身にとっては理解が不十分な点が明確になり、授業者にはワークシートの提出により生徒の理解の度合いを知る手がかりとなる。
- ・内容が読み取りにくい段落では、ワークシートへの書き込みに時間がかかる。生徒にヒントを与えたり、その段落だけは構成図を穴埋めにしたりするなどの手助けが必要である。

④言語活動の工夫

- ・教師からの発問、ワークシートの問について、各自の取り組みを行った後、ペアやグループで意見交流させる。自分はどう読み取ったのかを話し、相手の説明を聞くことで自分の読みが再確認できる。
- ・グループ活動においては、誰が初めに口を開くかを指示したり、作業、理解の早いグループに他グループの生徒を派遣してアドバイスやヒントを得させたりし、交流が活発になるよう工夫する。
- ・相手に考えを伝えたり、相手の話すことと自分の考えを比べながら聞いたりすることができる。伝える前には、ワークシートに述べさせると、交流が活発になりやすい。

⑤評価

	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
関心	①段落の要旨をまとめようと	点検（ワークシート	・教科書のどの部分が大事か

	・意欲・態度	している。 ②自分の考えと照らし合わせながら読もうとしている。	の提出) 観察(机間指導) 生徒の自己評価	を指摘させ、傍線を引かせる。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加するよう促す。
	読む能力	①筆者の主張と論拠を的確に読み取っている。 ②論理展開を的確に把握し、構成図を作成している。	指名発言 点検(ワークシートの提出) 観察(机間指導) 生徒の自己評価	・隣の席の生徒とのペアワークで分からないところを質問するよう、助言する。 ・ワークシートの返却の際、読解のヒントを書き入れる。
	知識・理解	①本文中で使用される漢字の読み書きができ、語句や表現の意味を理解している。	観察(机間指導) 生徒の自己評価 定期考査	・単元の終わりに語句、漢字のプリントに取り組みさせる。
成果と課題	自分で読み、文章の骨格をつかむという点に関しては、生徒達は概ねできていたようであった。読み取りの際には、注意すべき表現にマークを付けさせ、どこが大切なのかを視覚的に分かるようにすることで、文章の「骨」を捉えさせた。具体例が出てきた時に主張とどのように関連があるのか、といったところまで読み取って構成図にまとめられる生徒は少数で、教師が説明をして補足することが必要であった。また、文章の「大切な箇所」を見つけることができない生徒には構成図作成は難しく、助言しながら作業させる必要があった。読み取りの基礎が定着していない生徒にとっては、難しい取組であったかもしれない。			
アドバイス及び留意点	①1年時の初期の段階から、要点を読み取る練習を重ねておくことや、論と例を意識して読む練習をしておく。 ②評論教材で、論理展開がきちんとしてものであれば生徒が自分で読みとり、まとめていくことができる。難しいと思われる場合には、教師の方で枠組みをヒントとして提示しておくことよい。			
小中学校との系統性	①(中学・2年・C読むこと) ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。 ②(中学・3年・C読むこと) イ 文章の論理展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。			

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	○本文の概略を把握し、全体の構成を理解する。 ○第一段落を読み、臓器移植と脳死が結びつく理由を理解	・脳死というテーマについて、知っていることを確認し合う。 ・漢字、語句に注意し、逆接の表現や言い換えを表す表現に注意しながら全体を通読し、段落構成を確認する。 【Cイ】 ・第一段落の構成図を作成する。【Cイ】 ・「この医療技術が『脳死』と結びつく理由」をまとめる。 *本文で取り上げられているテーマを理解させる。 ・難読漢字、難解な語句については適宜説明	脳死、臓器移植というテーマに興味関心を持ち、交流ができる【関】 ↓ 観察 漢字の読み、語句の意味が理解でき、第一段落の要旨がつかめている。【知】【読】 ↓	意見交流に積極的に参加するよう促す。 ↓ ワークシートに助言を書き入れる。 教科書に線を引かせながら取り組みさせる。 ↓ 着眼する表現を助言し、マークを付

	する。	<p>を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳死と移植治療が結びつく理由を本文の言葉を使ってまとめさせる。 ・単元の最後には筆者の考えをふまえて自分の意見を書くということを予告しておく。 ・第二段落の構成図作成を予習課題として指示する。 	<p>ワークシート 観察 指名発言</p>	<p>けさせる。</p>
2	○第二段落を読み、筆者の「脳死」に対する考え方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で作成してきた第二段落の構成図をグループで確認する。 ・漢字や語句に注意して第二段落を読み、「中間的身体」とはどのような状態を言うのか理解する。【Cイ】 ・ワークシートの間に答え、筆者の「脳死」に対する考え方を読み取る。【Cイ・エ】 <p>*表現に注目させ段落の要旨を捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～ではなく」「～なのだ」「だが」などの表現に注意して読ませる。指示語が指す内容に注意しながら読むよう助言し、ワークシートにまとめさせる。 	<p>構成図の課題に取り組み、グループ内で交流している。【関】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p> <p>漢字の読み、語句の意味が理解でき、ワークシートの間に自分の解答を書いている。【知】【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p>	<p>教科書に線を引かせて本文の抜き出しをさせる。</p> <p>↓</p> <p>形式段落ごとにまとめるよう指示する。</p> <p>注意する表現やキーワードにマークを付けさせる。</p> <p>↓</p> <p>授業後、注目する表現をまとめた資料を渡し、確認しながら本文を読むよう指示する。</p>
3	○第三段落を読み、筆者の述べる「『非人間化』する世界」を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第三段落を読み、構成図を作成する。【Cイ】 ・グループで構成図を確認する。その後、全体で確認する。【言イ】 ・ワークシートに取り組み、「この論理」「不気味さ」とは具体的にどのようなことを指すかを読み取る。また、筆者の述べる「『非人間化』する」とはどのようなことを理解する。【Cイ・エ】 ・グループでワークシートの確認をし、必要に応じて修正し、解答を完成させる。 <p>*キーワードを押さえているかを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの生徒がどのような言葉を用いてまとめているかを確認するよう指示し、共通している言葉や表現を見つけさせる。 ・第四段落の構成図作成を課題として指示する。 	<p>構成図を作成し、グループ内で交流している。【関】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p> <p>漢字の読み、語句の意味が理解でき、ワークシートの間に自分の解答を書いている。【知】【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p>	<p>教科書に線を引かせ、本文の抜き出しをさせる。</p> <p>↓</p> <p>形式段落ごとにまとめるよう指示する。</p> <p>「人間」「非人間」が意味するものを考えるよう助言する。</p> <p>↓</p> <p>問われている箇所などの部分に注目して考えていくかを、机間指導の際に確認する。</p>
4	○第四段落を読み、筆者の「脳死」に対する考えを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で作成してきた第四段落の構成図をグループで確認する。【Cイ】【言イ】 ・「実存の思想」とはどういうものか教師の説明を聞き、理解する。 ・「身体的存在」とはどのようなものか、筆者の「脳死」に対する考えはどのようなものかを各自で考え、ワークシートに記入する。【Cイ、エ】 ・各自の解答を持ち寄り、グループで話し合い、ワークシートにまとめる。 <p>*筆者の「『脳死』は人の死ではない」という主張とその根拠を読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実存思想」「免疫」の各例がどのような役割をもっているかをグループで話し合 	<p>構成図の課題に取り組み、グループ内で交流している。【関】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p> <p>漢字の読み、語句の意味が理解でき、ワークシートの間に自分の解答を書いている。【知】【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート</p>	<p>教科書に線を引かせ、本文の抜き出しをさせる。</p> <p>↓</p> <p>形式段落ごとにまとめるよう指示する。</p> <p>「身体的」とはどのようなことを考えるよう助言する。</p> <p>↓</p> <p>どの語句に注意して読解を進めてい</p>

		わせる。	観察	くかを指示する。
5	○筆者の意見と「脳死」に関するその他の文章を読み、自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張の確認をする。 ・週末課題として使用している問題集に掲載の文章を読み、筆者の主張を捉える。西谷氏との相違点を理解する。【Cイ・オ】 ・グリーンリボンキャンペーンHP掲載の文章、脳死臨調最終答申の一部を読み、脳死を死と見なすことについて理解する。【Cイ・オ】 ・ワークシートに自分の考えを書き、グループ内で交流する。 <p>*脳死についてさまざまな立場の意見を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳死を死と見なすことの是非、功罪について考えながら読むよう指示する。 	<p>筆者の考え、その他の文章の内容を理解している。【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p> <p>自分の意見を持ち、グループ内で交流している。【関】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察</p>	<p>これまでのワークシートを振り返らせる。</p> <p>↓</p> <p>マーカーを引かせる</p> <p>グループでの交流を通して考えたことを述べさせる。</p> <p>↓</p> <p>提出されたワークシートにコメントを書き、考えを深めさせる。</p>
6	○小論文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容をふまえ、自分の意見を文章にする。 <p>*段落構成を指定して書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「意見—理由—根拠—まとめ」の形を意識して書かせる。 	<p>筆者の考えをふまえて自分の考えを明確に述べ、そう考える理由や根拠が明確に書かれている。【読】【書】</p> <p>↓</p> <p>小論文</p>	<p>構成メモを書かせる。</p> <p>↓</p> <p>主張、根拠をはっきりさせてから文章にさせる。必要に応じて個別指導を行う。</p>

6 第5時の学習指導案

本時の位置	5時間目（全6時間）		
本時の学習目標	<p>ア 本文全体を通しての筆者の主張を読み取ることができる。（読む能力）</p> <p>イ 教科書本文以外の文章や関連する文章を読んで、考えたことを表現している。（関心・意欲・態度）</p>		
事前の準備	<p>①前回までのワークシートを確認し、生徒の理解度を把握しておく。</p> <p>②関連資料を準備する。</p> <p>③グループの構成、活動の内容、時間を考えておく。</p>		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	□前回のワークシートの見直し	<p>①返却されたワークシートを見直し、筆者の主張を各自で確認する。</p> <p>②隣の席とペアになり、筆者の主張を互いに確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張する内容が正しく把握できているか前時のワークシートで確認しておく。理解が不十分であれば、ここで補足する。 ・ペアワークを活発にするため、どちらが先に口を開くか、指示をする。

<p>展開 40分</p>	<p>□本時の課題の確認</p> <p>□筆者の主張の確認</p> <p>□資料1の読み取り</p> <p>□資料2の読み取り</p> <p>□「『脳死』は人の死か」というテーマについてのメモ作り</p> <p>□グループ交流</p>	<p>③ワークシートで課題の確認をする。</p> <p>④指名発言により、クラス全体で主張を確認する。ワークシートへ書き込む。</p> <p>⑤資料1に目を通す。 筆者の主張を各自で読み取り、ワークシートにまとめる。</p> <p>⑥3～4人のグループで主張を確認し、グループとしての解答を作成する。</p> <p>⑦指名発言、板書などによって、各グループで出た解答を確認する。</p> <p>⑧資料2に目を通す。</p> <p>⑨テーマについて、ワークシートに自分の考えを述べる。そう考える理由についても触れて書く。</p> <p>⑩グループ内で交流する。</p>	<p>・週末課題として使用していた問題集に掲載の文章を読ませる。細かな表現には触れず、論理を追って主張だけを読み取ればよいことを伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標アに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化的営み」というキーワードを用いて主張をまとめることができる。 <p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・観察 <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードは何かを考えさせる。 ・学習活動⑥の交流により理解を深める。 </div> <p>・自分で書いた者を持ち寄り、よりよい解答を作成できるよう、意見を交流させる。</p> <p>・脳死臨調最終答申の資料を提示し、「脳死」は「人の死」であるとする根拠を押さえさせ、傍線を引かせる。</p> <p>・この時間では、自分の考えとその理由を明確にさせる。特に、理由は自分の主張を述べる際に妥当なものであるか確認させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに自分の考えと、そう考える理由を書いている。 <p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・観察 <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動⑩の交流で仲間の考えを聞いてから表現させる。 </div>
<p>まとめ 5分</p>	<p>□本時の課題についての自己評価</p>	<p>⑪ワークシートに本時の自己評価・感想を記入する。</p> <p>⑫ワークシートを提出する。</p>	<p>・次回の授業で小論文を書くことを予告する。</p>